

山行報告書

報告書作成

NJ

山名 [山域]	塩見岳	目的と方法	雪渓 & 新緑 & お花畑
登山期間	2008年7月12日	山行形態	日帰りピストン
参加人数	1名		

行動記録

7月12日 豊田勘八IC 2:00 = 松川IC 3:15 = 烏倉林道終点 P4:15 発 4:30 - 登山口 5:00 - 三伏峠小屋 6:50
 本谷山 7:50 - 塩見小屋 9:20 - 塩見岳山頂 10:15 10:30 - 塩見小屋 11:20 - 三伏山 13:30 -
 三伏小屋 14:00 - 登山口 15:20 - 駐車場 15:50
 烏倉林道 16:00 = 松川IC 17:00 = 中津川IC 18:00 = 恵那峡 SA 18:15 = 豊田勘八IC = 自宅 17:15

歩行 2.2km 累積高低差 1700m程度 11時間 (休憩 1時間含む)

主な装備 ダブルストック、雨具 で 小屋泊相当 8kgくらい?

車 160km x 2 高速代金 行2100(深夜)、復900 + 1100円 駐車場無料

山行



塩見小屋からの塩見



三伏山からの塩見



山頂からの富士山



岩ベンケイと赤石岳

日誌

九州南部では梅雨明け。本州ははっきりしない天気ながらも、梅雨前線がよわまり、この週末は移動性高気圧が本州上部に。かねてからの計画の塩見岳。テント泊も考えたが単独の機動力を考えて、小屋泊担保のピストンとする。朝2時に家をでて、駐車場へ4時15分。2時間ちょっと。近くていいね。駐車場は30台程度で無料でトイレあり。すでに 20台前後の車両が。皆さん朝食をとってこれからというところ。早速明るくなる林道を出発。この林道2.5kmくらいありそう。今日は長丁場だ。

- *5:00 登山口につく。トイレと登山届出BOXがある。届出して登山開始。
 まずは カラマツの広い尾根斜面にとりつく。鹿害対策で、ビニールテープがカラマツに巻いてある。2000mほどの高度になっていくとカラマツからシロビソにかわる。稜線鞍部を越えて、三伏までは、トラバース路で、木製のステップ等を渡っていくが、あまり信頼おけなそう。
- *7:00 三伏小屋へ ほぼ計画とおりのベース。このベースなら日帰り可能か。塩見はガスに包まれ見えなし。ハイマツとカンバ、シロビソまじりの尾根をいく。三伏山までは展望あるが、そのあとは木々の端々。
- *8:00 本谷山 中央アルプス 仙丈等が。少し雲にかかっている。正面に見えるはずの塩見はやはりガスのなか。ここからはシロビソのひろい尾根あるき。
 赤いテープで 登山路を確認しながら進む。立ち枯れの尾根からは塩見がみえるハズ。
- *9:20 塩見小屋へ。稜線に登ると一期に視界がひろがる。白根三山に仙丈、甲斐駒、南は 赤石、荒川 そして 今日の主役の 塩見が 荒々しい岩峰をあらわに ドンとそびえる。
 今日也快晴です。ここから 岩のぼりが始まるが なにしる凄い花畑。ミヤマダイコン草、ハクサンイチゲ、コイワカガミ、コケモモ、オダマキが咲き乱れて梅雨で 花々も元気。なかなか進みません。
- *10:15 山頂にでると東に、端正は富士山が。その裾野は 駿河湾におち、綺麗な円錐形がかなりの迫力でのぞめます。北は白根三山と甲斐駒、仙丈 南は 赤石、悪沢と。満足です。
- *11:15 塩見小屋ですこしのんびりして。今日は50人の定員でもう45名の予約とか。どんどん予約の電話がはいつてきてました。今日は満員ですね。
- *13:30 三伏山で 昼食。正面の 塩見をみながら ラーメンたべて休憩です。
- *15:20 登山口。やれやれ。カラマツみて 安心したら どっと足の疲れがでてきました。
- *15:50 駐車場 青い空、白い雲 夏の日差しをあびながら 林道あるき。長かったです。

反省: 今日はコケル、滑って手を着くは 無し。ただし三伏からの下山で 木製の橋のところが ぐらついていて、10cm

くらい 谷側にのめりこみそうになった事が反省点。特に 木製の橋はあてにならないですね。